

資料① (本時の指導案とデザインマップの関係)

算数科		
○学んだことを言語化させる。(動かせた見方・考え方、統合・発展的な振り返り) ○ジャンプ課題	深める	○課題を解決し新たな疑問や課題を見つける。
○ペア・グループ学習を設定する。 ○多様な考え方を予想する。 ○新しい気づきを追記させる。	伝え合う	○考えを広げ、整理する。
○課題や問いかけを焦点化し、明確にする。 ○自分の考えたことを表現させる。	一人一人が考えをもつ	○同じ土俵に乗る。

「次は〇〇やってみたい！」理由は…

「10のまとまり」に着目(卵パック・ブロックのふた)

「違うところ」「同じところ」はどこかな？

ブロックをどう動かしたかをお話する。
友だちの動かし方をやってみる。

ブロックをどう動かしたかをノートに表現する。

どうやってとったかブロックを動かしてみる。

資料② (「自分の考えたことを表現する→低学年のうちからしっかり取り組む」)

- 書きにくい場合は、ペアで話す
- ノートに書く(図、言葉、式、表、グラフなど) → 分かりかけや誤答でよい
- 算数のことばを提示する

☆『3つのかずのけいさん』

ず 〇〇〇〇〇

しき $5 - 3 + 4 = 6$

こたえ 6 ひき

これは ひきざんとたしざんがまざっているからこうもったよ。

ず 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

はじめ $3 + 2 + 4 = 9$

しき $3 + 2 + 4 = 9$

こたえ 9 ひき

☆『ひきざん』

ひきざんする

① ○○○○○○○○○○○○○○○○○

② ○○○

しき $13 - 9 = 4$

こたえ 4

ことば

まず、さいしきにまづ、ひきざんをします。それから、ひきざんをしました。のこりは4です。

なるほど!! じつは、ひきざんは、ひきざん

ひきざん

① ○○○○○○○○○○○○○○○○○

② ○○○○○○○○○○○○○○○○○

しき $14 - 8 = 6$

こたえ 6

ことば

まず、たまごか、14にあり、まず、8をひきます。その結果、6が残ります。この6は、2と4に分かれます。2と4を足すと6になります。

あせます。そして、2と4で6になります。